



大原

令和7年9月1日
京都大原学院
校長 瀧本 祐一郎

実りの2学期のスタートと「やれるかも」

夏休み、元阪神タイガース監督・矢野燿大さんの講演を聴く機会がありました。選手の心を前向きに整える言葉かけを大切にした矢野さん。講演途中で何度も目頭が熱くなり、「できるかも」の話が心にしみました。何でも「できるかも」と思ってチャレンジしてみる。いい話やなあと、帰宅後も何度も思い出しているうち、「あつ」とひらめくものがあり、久しぶりに『詩の手帖』を開けました。これは大学生の頃から気に入った詩を書き留めてきた大学ノートで、心に浮かんだのはその5冊目に書き写した、坂村真民（さかむらしんみん）さんのこの詩でした。

なにかわたしにでもできることはないか

坂村 真民

“なにかわたしにでも できることはないか”／ 清家清子（せいけきよこ）さんは／ ある日考えた
彼女は全身関節炎で／ もう十年以上寝たきり／ 医者からも見放され／ 自分も自分を見捨てていた
その清家さんが／ ある日ふと／ そう考えたのである

彼女は天啓のように／ 点字のことを思いつき／ 新聞社に問うてみた
新聞社からわたしの名を知られ／ それから交友が始まった

彼女は左手の親指が少しきだけ／ そこで点筆をくくりつけてもらい／ 一点一点打っていった
それから人差指が少しきき出し／ 右手の指もいくらかずつ動くようになり
くくりつけなくても字が書けるようになり／ 一冊一冊と点訳書ができあがり
今では百冊を越える立派な点字本が／ 光を失った人たちに光を与えている

“なにかわたしにでも できることはないか”
みんながそう考えたら／ きっと何かが与えられ／ 必ず広い世界がひらけてくる

年中光の射さない部屋に／ 一人で寝ていた彼女に／ 手紙がくるようになり／ 訪ねてくる人ができ
寝返りさえできなかったのに／ ベッドに起きあがれるようになり
あったかい日はころころころがって／ 座敷まで出ができるようになり
ある日わたしが訪ねた折などは／ 日の当たるところでお母さんに／ 髪を洗ってもらっていた

どんな小さなことでもいい／ “なにかじぶんにでも できることはないか”と
一億の人がみなそう考え／ 十億の人がみなそう思い奉仕したら
地球はもっともっと美しくなるだろう
片隅に光る清家清子さん！

4人の転校生を迎える嬉しい気持ちで迎えた2学期。「できるかも」と子どもたちが果敢に自分の可能性にチャレンジする背中を押し、心あつくなる瞬間をたくさん共有したいと思います。

令和7年度

9月行事予定



日	曜	学校行事・PTA・地域・保健行事など
1	月	⑥クラブ活動 放)素読教室
2	火	(昼)本部
3	水	③④しば漬け作り体験(3・4年) フッ化物洗口
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	放)素読教室
9	火	(昼)本部 19:15～ PTA運営委員会
10	水	校内研究授業② フッ化物洗口 諸費引落日
11	木	秋季テスト1週間前
12	金	三千院学習(5年) 学校安全の日
13	土	
14	日	
15	月	敬老の日
16	火	文化祭体育館割当開始(1～6年) (昼)本部
17	水	10:00～11:00 巡回文庫 フッ化物洗口
18	木	
19	金	京都ものづくりの殿堂・工房学習(4年) (昼)中央委 19:00～ 学校運営協議会
20	土	
21	日	
22	月	⑤クラブ活動 放)素読教室 教育実習～10/21まで(前期課程:3年)
23	火	春分の日
24	水	(昼)集会 フッ化物洗口 放)合同部活動 この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収へ！ 古紙回収
25	木	⑥専門委員会 諸費引落日(再)
26	金	ふれあいタイム(外国人教育4年)
27	土	休日参観 引き渡し訓練(給食なし) 午後:789年生・PTA合同バレーボール大会
28	日	大原地域自主防災訓練
29	月	代休日(持ち帰り給食)
30	火	(昼)本部 教育実習～10/21まで(後期課程:国/理/保体)
10月の主な予定		10(金)ふれあいタイム
1(水)-3(金)花背宿泊学習(4年)		17(金)文化祭
3(金)三千院学習ウォークラリー(5年)		20(月)秋時間開始(前期課程16:15下校)
5(日)区民運動会		21(火)進路保護者説明会
6(月)文化祭特別時間割開始		24(金)漢検(7～9年)・三千院学習登山(5年)
6(月)-10(金)学習確認プログラム(7～9年)		28(火)-31(金)個人懇談会(9年)

2学期始業式 8月26日(火)

令和7年度の第2学期が始まりました。始業式では、4人の転校生を迎える全校児童生徒は109人となりました。新しい仲間を迎え、みんなで喜び合う温かなスタートとなりました。

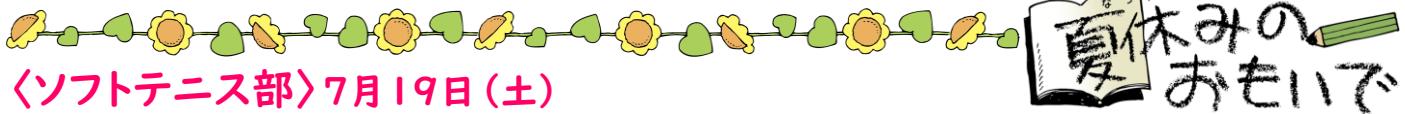


式では、校長先生から「かも」と「運」についてのお話がありました。「難しいな」と感じることでも、「できるかも」と前向きに考えて挑戦することの大切さ。そして、「自分は運が悪い」と思うのではなく、「生きているだけで運がいい」と受け止める心の持ち方について、温かいメッセージをいただきました。



そのお話を受けて、児童生徒会長からは「何事も『楽しいかも』『おもしろいかも』と考え、たくさんの“かも”を見つけていきましょう」との力強いメッセージがありました。

2学期も、前向きな気持ちを大切にしながら、みんなで一歩ずつ成長していくよう、充実した日々を過ごしていきましょう。



〈ソフトテニス部〉7月19日(土)

7月19日(土)、神川中学校にてソフトテニス部の夏季大会が開催されました。

1回戦の相手は、春季大会準優勝校という強豪チームでした。部員数が少ない中でも、大原学院の選手たちは息の合った応援と、最後まで諦めない姿勢でボールに食らいつき、見事に春季大会のリベンジを果たして2-1で勝利しました。

続く2回戦では、勢いそのままに1番手が勝利。2番手・3番手も粘り強く戦いましたが、あと一歩及ばず惜敗。結果として京都市ベスト16という素晴らしい成績で団体戦を終えました。

また、9年生にとって最後の夏季全市大会個人戦には、すべてのペアが予選を突破して出場しました。1ペアは全力を尽くして1回戦で惜しくも敗退。残る2ペアは大会2日目まで勝ち進み、ベスト16とベスト32に入る健闘を見せました。

敗者復活戦にも挑みましたが、府下大会出場まで“あと一勝”というところで惜しくも敗退となりました。

9年生の3人は、この2年半で大きく成長し、最後まで全力で取り組む姿を見せてくれました。現在は、それぞれの進路実現に向けて新たな一歩を踏み出しています。

新チームは、8・7年生あわせて5人と人数は少なくなりましたが、キャプテンを中心に暑い夏休みの練習を乗り越え、着実に力をつなげながら新人戦に向けて動き始めています。



〈バドミントン部〉7月24日(木)・25日(金)

7月24日・25日に、かたおかアリーナと横大路体育館を会場として「全市大会」が開催されました。

初日の女子個人戦では、1名が見事ベスト16入りを果たしました。翌日の女子団体戦では、1回戦で嘉楽中に2-1で勝利、続く2回戦では龍大平安中に1-2で惜しくも敗れましたが、堂々のベスト8という結果を収めました。

嘉楽中の1回戦では、シングルスに出場した9年生が「自分が勝





たないといけないというプレッシャーを感じたけれど、勝ち切れてよかったです」と話してくれました。また、ダブルスに出場した9・8年生ペアは、両試合とも安定したプレーで勝利に貢献しました。

男子個人戦では、3回戦まで勝ち進み、全市大会8位通過という成績で、7月30日に行われた府下大会への出場を果たしました。

全市大会では、相手のプレースタイルや空調などの環境に苦しみながらも、粘り強くシャトルを追いかけて勝利をつかみました。府下大会では、他地区の強豪選手と対戦し、自分のスタイルを崩すことなく最後まで諦めずに戦い抜く姿を、後輩たちにしっかりと見せてくれました。

大会を終えた9年生からは、「みんなの試合を見てとても感動したし、これからも続けていきたい。後悔することもあるけれど、最後までやり切れてよかったです」との言葉がありました。この先輩たちの思いを受けて、現役生たちも日々の練習に励んでいってほしいと思います。

〈文化部〉7月28日(月)

7月28日、文化部では夏休みならではのゆったりとした時間を使って、調理活動を行いました。今回のメニューは、昼食にオムライス、デザートにアイスクリームです。「自分の分は自分で作る」



スタイルで調理を進めたため、ひとりひとり少しずつ違う個性豊かなオムライスが完成しました。みんなで楽しく調理し、笑顔と一緒に食べると、いつもの何倍もおいしく感じられました。

アイスクリーム作りでは、なかなか固まらず苦戦しましたが、甘くて冷たいスープのような仕上がりに。「これはこれでアリ!」と、みんなで楽しく味わいました。



普段は短時間の活動ですが、夏休みならではの特別な時間を通して、仲間との絆を深めることができました。これからも文化部らしい、楽しく創造的な活動を続けていきます!

水生生物調査 7月25日(金)

7月25日、今年度も5・6年生が高野川の水生生物調査を行いました。今回も京都大学の竹門先生にご指導いただき、自然と科学の学びを深める貴重な機会となりました。調査地点は4か所です。学校前の高野川、宮川と高野川の合流点、宮川橋付近、太田ゆね(昔の石組みの用水路が保存されている場所)太田ゆねでは、貴重な赤トンボ「ミヤマアカネ」も発見されました。

調査では、川に入り水生生物を採集し、学校に持ち帰って一匹ずつ分類し



ます。川の水質を知る手がかりとして、生物の種類の多さが重要なポイントになります。今年も学校近くの高野川では、きれいな水に生息する生物が多く見られ、水質の良さがうかがえました。調査結果は次の通りです。

高野川(学校前):50種、宮川合流点:38種、宮川橋付近:28種、太田ゆね:25種



この調査は、継続することで高野川の環境の変化を知ることができる大切な活動です。自然とふれあいながら学ぶこの機会を、ぜひ5・6年生になつたら体験してみてください。